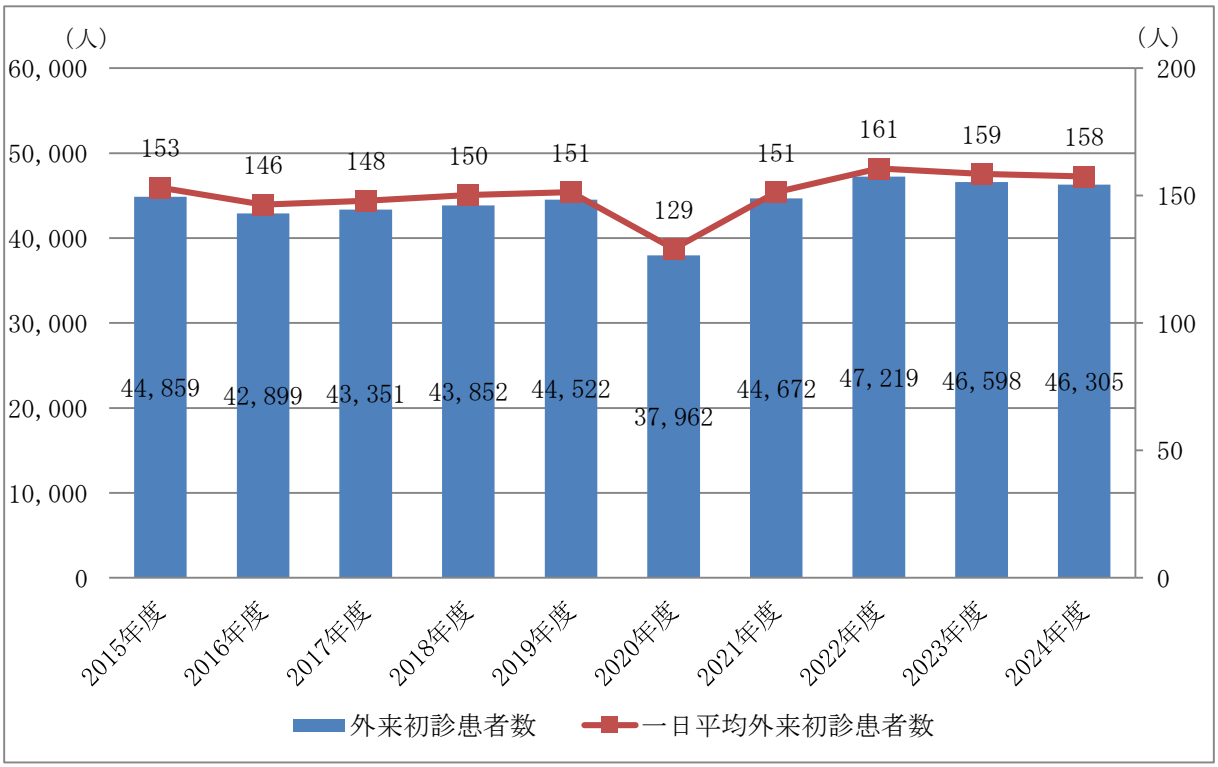
外来初診患者数



2024 年度の外来初診患者数は、前年度より減少し、46,305 人となった。

前年度からは若干数減少したが、2015 年度からコロナ禍までの 2019 年度と比較すると、外来初診患者数は増加している。厚生労働省が示す「病病連携・病診連携・病介連携」において、大病院の外来は紹介患者を中心とし、かかりつけ医機能を有する医療機関では、一般的な外来受診に対応するという外来の機能分化の推進として、近隣医療機関からのご支援により切れ目のない医療連携体制が維持されていると考える。

今後は、必要に応じた介護サービスと連携・協働と継続的な医療機能の分化・強化、連携をさらに進めていく。

データ提供　医療事務室外来医事課